

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 2014年 6月19日 兵庫県知事 殿 提出者 住 所 兵庫県西脇市鹿野町124-5 氏 名 日清ヨーク株式会社 関西工場 工場長 間仲雅利 電話番号 0795-24-6661 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日清ヨーク株式会社 関西工場
事業場の所在地	兵庫県西脇市鹿野町124-5
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0914 乳製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 5,257百万円
③ 従業員数	44人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>関西工場 工場長 ↓ 製造課 課長 ↓ 原動グループ マネージャー → 行政への報告・廃棄物契約 各部署への報告</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底し、なるべく有価売却し廃棄物発生量を削減する。 ダンボール等の古紙、褐色ガラス、廃油、廃プラスチック、金属、アルミくずの計6項目で実施する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 工程のロスを軽減することで不良品量の抑制するように取り組む。 生産量が増加するため、排出量と生産量の原単位あたり1%削減します。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所に廃プラスチック、ガラス、廃酸にわけ、各部署からの廃棄物を分別し保管する。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程のロスを軽減することで不良品量の抑制するように取り組む。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙参照	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙参照	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙参照	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 排水処理施設の余剰汚泥の脱水処理を実施する。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙参照	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き余剰汚泥の脱水処理を実施する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り廃棄物のリサイクルを推進してきた。 廃酸 → 飼料化・肥料化 汚泥 → 肥料化 廃プラスチック類 → RPF		

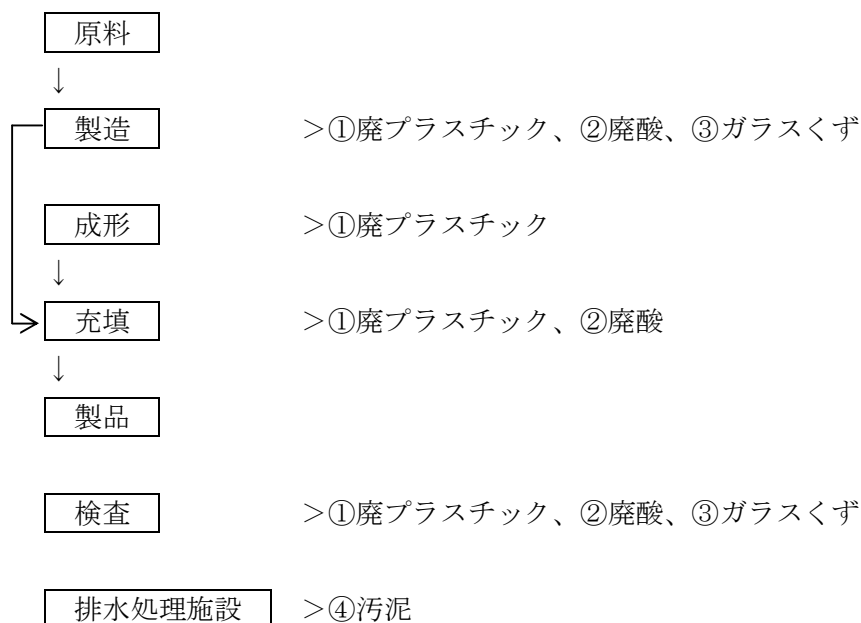
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		別紙参照
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き廃棄物のリサイクルを推進する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
排出量	25t	200t	0t	2800t
生産量	32,506kl			
原単位	0.000769t/kl	0.006153t/kl	0t/kl	0.086138t/kl

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
排出量	30t	243t	0t	3401t
生産量	39,882kl			

計画の排出量は前年度の原単位を 1%削減し今年度の生産予定量にて算出したものです。

廃プラスチック類 $0.000769t/kl \times 39,882kl \times 0.99 = 30t$

廃酸 $0.006153t/kl \times 39,882kl \times 0.99 = 243t$

汚泥 $0.086138t/kl \times 39,882kl \times 0.99 = 3,401t$

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
排出量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
排出量	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	2400t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	2915t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った量	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
全処理委託量	25t	200t	0t	400t
優良認定処理事業者への 処理委託量	25t	75t	0t	0t
再生利用者への 処理委託量	25t	200t	0t	400t
認定熱回収業者への 委託処理量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0400 廃酸	1300 ガラスくず	0200 汚泥
全処理委託量	30t	243t	0t	485t
優良認定処理事業者への 処理委託量	30t	91t	0t	0t
再生利用者への 処理委託量	30t	243t	0t	485t

認定熱回収業者への 委託処理量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t

以上